

吉野川市芸術祭「第9回合同茶会・いけばな展」開催

2月12日、13日の2日間、市文化協会所属の茶道部門と華道部門による「合同茶会・いけばな展」が文化研修センターで開催されました。

茶会では、表千家、裏千家の各流派によるお点前が披露されましたが、コロナ対策のため一般の方への呈茶は残念ながら中止となりました。

いけばな展では、7流派80人が出展し、高さ約1.7mの大作から数十センチの作品まで48点が会場を彩りました。梅や菜の花、チューリップなど早春を思わせる花がならび、約470人の来場者を和ませていました。



△大勢の来場者がありました

JR鴨島駅前に観光マップ看板を寄贈いただきました

2月22日、JR鴨島駅にて、鴨島ロータリークラブから寄贈された「鴨島駅前観光マップ看板」の除幕式が行われました。

今後、本市を訪れた観光客がこの看板を見て、吉野川市の観光地を探索していただくと期待しています。

◀鴨島ロータリークラブ様のご厚意に感謝いたします



スイセンが江川の河川敷を彩る

3月の江川沿いの河川敷（吉野川高校北側）に、5種類のスイセンの花が咲き誇り、甘い香りを漂わせていました。

この場所は、鴨島町で活動する「江川奉仕橋かもクラブ」が草刈りをしたり、さまざまな花の苗を植え付けたりして整備を行い、江川の名所を造るため、環境保護につとめています。

また、5月に花菖蒲、6月19日～21日にはユリの花見会の接待が行われる予定です。



△きれいな花を咲かせ、江川沿いを彩るスイセン

100歳の誕生日おめでとうございます



喜多茂子さん
(川島町川島)
大正11年2月5日生まれ

2月5日、喜多茂子さんが100歳の誕生日を迎えられました。喜多さんは、山川町で6人兄妹の次女として生まれました。幼い頃は病気がちの毎日でしたが、30歳を迎える頃から元気になり、周りの人に支えられ過ぎてこられました。若いときは俳句や編み物をしていましたが、現在は読書が趣味だそうです。毎日、新聞を読むのを楽しみにされています。喜多さんの長生きの秘訣は、のんびりとあまりよくよせ過ぎることだそうです。誕生日当日は、ご家族や施設職員に見守られながら笑顔で祝状を受け取られました。



松村フミ子さん
(山川町井上)
大正11年2月21日生まれ

2月21日、松村フミ子さんが100歳の誕生日を迎えられました。松村さんは、山川町で生まれ、鴨島町にある製糸会社で10年間働き、25歳で結婚しました。結婚後は富山県で生活をし、夫の定年に伴い山川町へ帰郷しました。現在は、神山町にある施設で生活されています。施設では、午前中は体操やレクレーションに参加し、午後からは趣味の読書を楽しまれたり、入浴やお昼寝をして過ごされています。松村さんの長生きの秘訣は、しっかり食べる事だそうです。誕生日当日は、笑顔で祝状を受け取られました。

吉野川市内の100歳以上の長寿者は48人(女性43人 男性5人)になりました。

「生活不活発病」予防のポイント
毎日の生活の中で活発に動くようにしましょう



できごと

yoshinogawacity



吉野川市民プラザおよび吉野川市多目的グラウンドのネーミングライツ・パートナーが決定しました!

1月28日、本市のネーミングライツ契約調印式が行われました。

吉野川市民プラザは「日本フネン株式会社」を、吉野川市多目的グラウンドは「株式会社ヨコタコーポレーション」を、それぞれパートナー企業として決定しました。

愛称は令和4年4月1日から3年間使用します。今後は市の広報媒体において、積極的に愛称を使用し、愛称の定着を図ります。

新しい愛称は次のとおりです。

- 吉野川市民プラザ ⇒ 日本フネン市民プラザ
- 吉野川市アリーナ ⇒ 日本フネンアリーナ
- 吉野川市民センター ⇒ 日本フネン市民センター
- 吉野川市多目的グラウンド ⇒ ヨコタ上桜スポーツグラウンド



△左から日本フネン株式会社代表取締役社長、原井市長、株式会社ヨコタコーポレーション代表取締役社長

全国名水百選江川湧水源清掃活動参加者が累計2万人達成!



△2万人目として記念品を受け取った鴨島第一中学校の麻野羽桜さん(写真右)と忽那寿都くん(写真左)

名水百選の江川の水源を守り、昔の清流を取り戻すために2000年8月に設立された「NPO法人江川エコフレンド」が毎月1日に実施している清掃活動参加者が、2022年2月に2万人を達成しました。

当日は早朝から寒風と水温異常現象により江川の水面に湯けむりがあがるなか、ボランティア23人、鴨島第一中学校の生徒・教職員112人が清掃活動を行いました。

江川の湧水源は1985年に環境省が選定した名水百選や1954年に県指定天然記念物「江川の水温異常現象」として指定されており、地域の人々の憩いの場となっています。

「未来を守る防災活動賞」徳島県知事表彰を受賞

1月25日、地域の防災・減災対策の推進に大きな貢献をした団体などに贈られる「未来を守る防災活動賞・自主防災組織部門」を鴨島町の喜来北部地区自主防災会が受賞しました。

受賞した喜来北部地区自主防災会は、①指定避難所である県立吉野川高校と共同で避難所運営訓練を実施し、②地区独自の防災マップを作成し一時避難場所や資機材格納庫を標記して配布する、など特色のある活動が評価されました。



飯泉知事と田中幸治会長

「生活不活発病」とは、「動かない(生活が不活発な)」状態が続くことにより、心身の機能が低下して、「動けなくなる」ことをいいます。